

## 会 議 録

会議名 (付属機関等名)	川西市総合計画審議会(第5回)		
事務局(担当課)	総合政策部行政経営室経営改革課		
開催日時	平成29年9月14日(木) 午後6時30分から午後8時30分		
開催場所	川西市役所4階 庁議室		
出席者	委員	(別紙委員名簿のとおり) ※上畑委員欠席	
	その他		
	事務局	松木総合政策部長、作田行政経営室長、的場経営改革課課長、大村経営改革課課長補佐、八尾主査	
傍聴の可否	可	傍聴者数	3人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	(別紙会議次第のとおり)		
会議結果	(別紙審議経過のとおり)		

# 川西市総合計画審議会委員名簿

平成 29 年6月7日現在

(敬称略、50 音順)

	委員氏名	役職等	選出基準	備考
1	上畑 雄太郎	阪急バス株式会社自動車事業部業務課主任	市民団体等	
2	岡田 忠純	岡田不動産鑑定	市民団体等	
3	荻田 雅仁	川西市商工会副会長	市民団体等	
4	柏 直行	教育経験者(川西市郷土館館長)	市民団体等	
5	北 稔	川西市コミュニティ協議会連合会理事	市民団体等	
6	木原 恵美子	川西市消費者の会会長	市民団体等	
7	藏原 亜紀	NPO法人育ちあいサポートブーケ代表理事	市民団体等	
8	兼定 政司	市民	公募	
9	土山 希美枝	龍谷大学政策学部教授	学識経験者	副会長として選出
10	中島 智彦	能勢電鉄株式会社総務部長	市民団体等	
11	新川 達郎	同志社大学大学院総合政策科学研究科教授	学識経験者	会長として選出
12	野田 大東	川西市防犯協会会長	市民団体等	
13	平山 圭	市民	公募	
14	藤末 洋	川西市医師会会長	市民団体等	
15	松尾 幸恵	川西市民生児童委員協議会連合会会長	市民団体等	
16	三井 ハルコ	NPO法人市民事務局かわにし理事長	市民団体等	
17	三善 知子	市民	公募	
18	山本 令子	川西市人権啓発サポーター会代表	市民団体等	

## 川西市総合計画審議会（第5回）会議次第

日時：平成29年9月14日（木）

午後6時30分～

場所：川西市役所4階 庁議室

### 1 開会

### 2 議事

(1) 第5次川西市総合計画後期基本計画の策定

(2) その他（次回の日程・内容確認など）

開催予定日

第6回審議会 9月26日（火）午後6時30分

### 3 閉会

# 審 議 経 過

事務局	<p><b>1 開会</b></p> <p>お時間がまいりましたので、「第5回川西市総合計画審議会」を開会いたします。</p> <p>本日もご多忙の中お集まりいただきまして、まことにありがとうございます。本日も活発なご議論をいただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは新川会長、早速ではございますが議事の進行をよろしく願いいたします。</p>
会 長	<p><b>2 議事</b></p> <p>●<b>会長あいさつ</b></p> <p>改めまして、皆さんこんばんは。今日もまた活発にご意見をいただければと思います。</p> <p>川西市総合計画後期基本計画の審議も、いよいよ終盤にさしかかりました。これまで、2つの班に分かれてご議論をいただけてきましたが、それをまとめて意見集のような形で、今日は事務局からご提示いただいております。それぞれのご発言をまとめた、場合によっては丸めたところもございます。項目によってはまだまだ議論を尽くさないといけないところもあるかと思いますが、しっかりとご意見をいただければと思います。合わせてこの後期の基本計画について、私どもとしての最終的な答申を市長に出さなければならないということがあります。意見集は意見集としてきちんとお伝えしたいと思っておりますが、これまでご審議いただきました案について、当審議会としてどのように考えていけば良いか、答申という形で市長に私どもの意見をお伝えするというのをしなければなりません。後半では、この答申案の内容につきましてもご意見をいただければと思っております。皆さま方のご協力で充実した議論ができればと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
会 長	<p><b>(1) 第5次川西市総合計画後期基本計画の策定</b></p> <p>それでは早速ですが、まずは後期基本計画の内容について、意見集という形でまとめていただいております。既にお手元に配布されていると思いますが、事務局から何か補足はございますか。</p> <p>それではこの意見集について、お目通しいただいているかと思っておりますので、これについて各委員からご意見を賜りたいと思っております。特にこれまで3回、或いは班によっては4回、班ごとに全体の主要な施策項目を半分くらいに分けてご議論をいただけてきました。毎回それぞれの議論の結果についての簡単な共有はさせていただいておりますし、議事録等もございますが、やはり直接議論する時間はございませんでした。今日が全体を通じてご意見をいただく機会です。</p>

	<p>もあります。是非、検討されたところの内容もそうですし、関わらなかった事項について、色々ご意見も賜りたいと考えております。</p> <p>それでは、意見集のどこからでも結構です。どんどんご意見をいただければと思います。どうぞ自由にご発言いただければと思います。</p> <p><b>◆ 高齢者の交通事故防止、免許証自主返納について</b></p> <p>施策 3「交通安全の施設整備と啓発を行い、交通事故を減らします」は、一般的な交通事故について述べられていますので、これはこれで良いと思いますが、川西市の場合は高齢化率が30%以上なので、高齢者の事故が非常に多いです。交通事故で亡くなる方の50%以上です。高齢者の交通事故対策も、重要な項目になるのではないかと思います。具体的に何をするかというと今、免許証自主返納申告制度があります。半年前に道路交通法が改正になり、75歳以上は認知症の検査が強化されています。これを受けて、今年1月から7月まで約14万人が免許証を返納されました。それによって、交通事故も死亡事故も減少しているようです。川西市も関係機関とよく協力し、高齢者の自主返納制度の協議会のようなものをつくり、そこで真剣に討議しないと、今後の交通事故は減らないと思います。市議会で同様の質問が出た際の回答は、兵庫県の警察本部がやっておりますというものでした。でもこれは各自治体で取り組まないと、高齢者の事故減少にはならないです。免許証返納は、川西市の健幸運動の普及にもなると思っています。</p>
委員	<p><b>◆ 施策26「行政の防災力を高め、災害時に迅速に対応します」について</b></p> <p>施策26「行政の防災力を高め、災害時に迅速に対応します」です。皆さんも阪神淡路大震災を体験されていますので、災害時の人員確保が大変なことはよくお分かりだと思います。警察ではOBの災害協力員というのをつくっており、災害時に支援をします。ここに書いてあることは理解できますが、人員確保についてはもし可能であれば、例えば定年退職された消防の方を災害協力員として登録し、災害時にかけつけてもらうことを一度検討されてはどうか。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。防災力を高めるという観点でご意見をいただきました。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p>
委員	<p><b>◆ 各施策に対する意見内容の補足について</b></p> <p>大原則としては、一緒に確認しつつという進め方が本当は望ましい。時間の制約や条件があるのは分かりますが、その上で。それなら、こんなのもあったのではないかと、今お伝えしていきたいと思っています。</p> <p>施策18では、確か電話トリアージの話が出ていたと思います。例えばそのことを具体的に書かなくても、新しい取り組みを既にやっているのだから、そういうことを取り入れていくとか、何か表現があっても良いと思いました。</p>

施策 42 は、私も携わっている男女共同参画センターのことです。「男女共同参画の啓発を推進するため、市民へのPRを積極的に行うべきである。」とありますが、確か「市をあげてのPRが必要」、「全市的全庁的に関わっていくほうが良い」という、もう少し強い意見があったように思います。

施策 43 は、いくらPRしても無関心層がある限りなかなかそれが浸透していかないのではないかと、無関心層にどう関心を持ってもらうか、という話があったと思います。それは、全施策に関わることだと思います。施策 17 に「無関心層の多い世代に対しては～」とありますが、ここだけではないと思います。

施策 44 はその前の 43 にも関わって、スマートニュースという新しいツールの使い方についても、面白い提言がありました。この文章に「新たなツールを使いつつ」等と書くだけでも、その意見が反映されると思います。

それから一番お伝えしたい施策 45 ですが、委員のご意見とも関わりますが、本当に川西市の財産は人だろうと思っています。人が育まれるまちは、絶対に育まれると思います。そういう意味で、参画共同はとても大事なポリシーなのですが、今のこの議論でもあるように、参画と協働の理解や意識は随分違うと思います。これも全市的全庁的に意識が共有されていくような施策が必要だと思います。そういうことができれば、一貫した通奏低音のように川西市らしい哲学が流れていくだろうと思っています。そういうところが、このきれいな文章の中にもう少し食い込まれていれば良いと思います。皆さんも、このきれいな文章の中にこういうものがあつたと付け加えてみてはどうでしょうか。

#### ◆ 施策 6「市街地の整備を進めます」について

施策 6「市街地の整備を進めます」に書かれていることは当たり前ですが、この議論をした時には、市街地として川西市内で 4 か所ほど掲げられていました。南部の空港の移転補償跡地、能勢口の東側、一庫の再開発があるのかどうか分かりませんがその地域、JR川西池田駅の南地域です。全て整備していくには色々な課題を持っている地域なので、一様に市街地として東ねられない。何よりもそういうところの事業がなかなか前進しないのは、それぞれのまちに対する想いや認識の共有を図りきれないところと、共に生きていこうとすることがベースとして大事なところなので、そんなテイストをこの中に上手に書いて欲しいと思います。あまりにもまとめられすぎていて、どこの市街地のことを言っているのか、この意見書では分からない。この程度のことしか我々は話していなかったと思われるのも困るし、そういう文脈にして欲しいです。

ありがとうございました。施策 6 について、もう少し審議会に出た意見を反映した具体的な内容、また、ソフト面について川西市として考えるべき方向を議論してきたはずなので、そういうものを反映させて欲しいというご意見でした。

その他いかがでしょうか。

委員

会長

委員	<p>◆ <b>施策 7「キセラ川西のまちづくりを進めます」について</b></p> <p>それではもう一つ。施策 7「キセラ川西のまちづくりを進めます」に書かれていることはこの通りのことですが、キセラ川西という新しいまちができることをきっかけに、「シビックプライド」という言葉が頻繁にこのまちでは出ています。このまちづくりに関わっていくことで、皆が育っていくという心でやっています。施策 7には「シビックプライド」を醸成するような文が書かれていない。そういうことが挑戦できるまちだということ、入れて欲しいと思います。(※シビックプライド…自分自身が都市を構成する一員であると自覚し、都市をより良い場所にするための取り組みに関わろうとする当事者意識)</p>
委員	<p>◆ <b>施策 19 の市立川西病院の名称について</b></p> <p>施策 19「市立川西病院において良質な医療を提供するとともに、あり方を検討します」と書かれていますが、この市立川西病院はもう「キセラ川西センター」という名称だと思うのですが、それはまだ決まっていないのですか。</p>
事務局	<p>まだ決まったものではありません。これから議会で審議して決まってくるものです。</p>
会 長	<p>その他いかがでしょうか。</p>
委員	<p>◆ <b>施策 22「高齢者の生きがいがづくりや社会参加を促進します」について</b></p> <p>自分の班で議論した以外の部分で、申し上げたいと思っていたことです。この意見集だけを見て言うので、もしかしたら議論されていたかもしれませんが、突拍子もないことかもしれませんが。施策 22 です。私の専門は子育て支援ですが、地域のマンパワーを子育て支援はすごく必要としています。高齢者の生きがいがづくりや社会参加のところに、是非そういう視点を盛り込んで欲しい。丸くしてこうなったのかもしれませんが、もしそういうことが出ていないのであれば、入れていただきたいと思っています。</p>
委員	<p>シニアの生きがいがづくりとして、「シニア活動塾」みたいなものをすれば良いという話はあったと思いますが、その活動先として子育て支援というのはなかったと思います。そういうことは、一緒にシェアすることで出てくる大事な意見だと思います。</p>
会 長	<p>貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。</p>
委員	<p>◆ <b>施策 24「生活保護受給者と生活困窮者の経済的自立をはじめ、社会生活自立・日常生活自立を支援します」について</b></p> <p>施策 24 ですが、素案 (49 ページ) のほうを見ていて感じたことがあります。</p>

	<p>主な施策展開に「子どもの貧困対策について、関係部署と連携し取り組みます。」と書かれていますが、一番上の統括部局は健康福祉部で、関連部がどこも書かれていません。本当に色々な部局が関わることになると思いますが、これだけではぼやっとしすぎているので、もう少し踏み込んで何かないものかと思いました。それと施策評価指標で、子どもの貧困に対する何か具体的な指標が市であるのか疑問に感じていたので、教えていただきたいと思います。</p>
会 長	<p>事務局で分かる範囲で何かあれば、お願いします。</p>
事務局	<p>子どもの貧困対策については、福祉部局と教育委員会と共同で協議を進めていきたいと思っています。ただ新しい事業ですので、これから指標等についても検討していくことになると思います。</p>
委員	<p>それだったら、関連部局等のところに具体的に「教育委員会」等と入れれば良いのではないかと思います、どうでしょうか。</p>
事務局	<p>作成にあたっては、そこもしっかり検討させていただきます。主体的にどう取り組んでいくか、今協議をしている最中です。この関係のアンケート調査を今年度実施しているはずですので、その辺りも分析して記載したいと思っています。</p>
委員	<p>学校の先生が把握されている部分や、スクールソーシャルワーカーが把握されている部分もあり、学校に行きにくい背景に貧困があることも往々にしてあると思うので、関連している職種の人達や地域の人達等、色々な人が関わられるような文言が何か入れれば良いと思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。子どもの貧困対策について、様々な専門家、担い手、関係者の方々が関わって対応していく必要があるということで、そういう情報も丁寧に拾っていけるような体制等、総合的に部局を超えて考えていただきたいというご意見をいただきました。本当はこういうことも、審議会で出た個別ご意見として載ってくると、私達が何を議論したかということも伝わりやすいと思います。</p>
事務局	<p>資料の用意が整いましたので、配布させていただきます。</p>
委員	<p>◆ 施策 25 「地域の防災力を高め、災害時に迅速に対応します」  <b>施策 26 「行政の防災力を高め、災害時に迅速に対応します」</b>について      施策 25 と 26 重なるのですが、書いてあることはこの通りなのですが、実際に人が足りないことが分かっていて、発災が終わった後はある物でやっていかないと仕方がない。起こってしまった後は、受援体制を敷かないといけない。防災力を高めるのはその通りですが、起こってしまった後どうするかという記</p>



載がない。石巻、東日本や医師会から熊本震災にもかなり行きました。色々な応援で資材も物資も入ってきます。その受援の交通整理をするのは、地域で一番土地勘のある人でないといけない。それが災害コーディネーターの役目だと思っています。そういった発災が起きてしまった後の対策についても、書いておく必要がある。ドクターや看護師が入って来てどこへ行けば良いのか等の情報の開示は、防災コーディネーターが入って動かないと空回りしてしまう。東日本大震災や熊本震災の経験も踏まえて、受援体制をきっちりするという記載も必要だと思います。

会長

予防的な事前の防災、準備のところだけでなく、災害発生後の救援・復旧の段階で入ってくる様々な応援をより効果的に受ける体制をつくるのが、重要な要素として欠けているのではないかと、というお話しをいただきました。最近、ボランティアセンター等をどう立ち上げ運営するのか、或いは避難所の運営について、人や物資の配置・配分をどうしていくのか、色々と検討はされていますが、今回の施策の「備える」の中には起きた後の備え方が不十分ではないかと、というご意見だろうと思います。

その他いかがでしょうか。

◆ **施策 31 「こどもの健やかな育ちを実現します」**

**施策 32 「明るく楽しい子育てを支援します」**について

委員

先ほどの子どもの貧困に絡んでです。私達のグループでは、「学び」のところでは貧困の観点で議論ができたのですが、施策 31、32 の子育て支援においても子どもの貧困の観点を盛り込んでおかないと、何か留まってしまった感じがあります。施策 31 だと 2 行目の「子どもたちに保障しなければならないため、」の後ぐらいに「子どもの貧困の観点からも」と、ニーズを把握するというよりも、子育て支援では親からの相談でニーズを拾うところがありますが、ニーズを掘り起こすぐらいのアプローチが新たな計画では必要だと思います。議論で言い忘れていましたが、そういう記載をしてもらえればと思っています。それに関連して、施策 32 でも「子育て相談の件数、内容」で留まっていると、これまでとあまり変わらないので、問題を掘り起こしていくところを入れていただければと思います。

会長

ありがとうございました。

◆ **施策 34 「児童・生徒の学力を向上させます」**について

委員

施策 34 の中で「点数化される学力の向上に併せて、自ら課題を発見し、解決していく生きる力」となっていますが、グループ内で議論していた時に「学力」について考えた時に、点数化される見えやすい学力と、もう一つは課題を発見し解決していくという学ぶ意欲とか自己学習力に繋がるような、見えにく

	<p>い学力という部分が出てきました。それぞれに具体的な施策の検討が必要だという意見がありました。その中で「生きる力」とは、この文章にあるように「自ら課題を発見し、解決していく」ことだとされるところがあると思います。「生きる力」の礎の一つに学力があり、「心豊か」も生きる力の一つだと思います。この中で「学力」イコール「生きる力」と単純に結びつけてしまっているところが、気になります。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。「生きる力」について、どう考えるのか。その中で「学力」或いは「豊かな心」、さらには自ら主体的に事をする能力等、色々な力が合わさって「生きる力」になっていくということだろうと思います。</p>
委員	<p><b>◆ 施策 37 「児童・生徒の健康」について</b></p> <p>こちらの資料をご用意いただき、ありがとうございました。第 1 班の施策 37 の意見一覧を見ていただくと、議論の多くは教職員の健康をどう守るかということでしたが、その部分がなくなっています。施策 37 は「児童・生徒・教職員の健康」ということで良かったですね。</p>
事務局	<p>ご報告できていなくてすみません。皆さまに配布した素案の段階では、おっしゃるように「教職員」が入っていました。教職員は任命権が兵庫県にある職員がおり、その方々に市で働いていただいているということで、教育委員会と検討した結果、今回「教職員」は省かせていただきたいという経緯があり、このような編集になっています。</p>
委員	<p>多くの皆さんが気にして大きな議論になった部分は、子どもの教育を支える教職員の健康と過労の状態でした。新たな項目として計画に追加すべきだということを、提言したいと思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。 その他いかがでしょうか。</p>
委員	<p><b>◆ 施策 44 「市民公益活動の発展に向けた取り組みを支援します」について</b></p> <p>もう一度、施策 44 です。あまり意見が出ていなかったかもしれませんが、ただ、今まとめていただいているものが、どうやっても入ってこなくて。「自治会をはじめ、NPO、ボランティアなどで自立的活動を促すために～」と、自治会とボランティアが並列に並べられています、それが「自立的活動を促すために、各団体のネットワークの共有化を図り～」というのは、自立的活動はネットワークがないとできないという意味ですか。自立的活動をしていくのとネットワーク化していくことは、また別の話のような気がしています。さらにそれに「相乗効果が発揮できるような仕組みづくり」とは、何なのか。言葉を全部並べただけの文章になっているような気がして、説得性に欠ける。これをも</p>

	<p>し担当課がもらっても、何をすれば良いのかとってしまうのではないか。もう一度ここに込めたい考えを整理したほうが良いと思いました。今文案は思いつきませんが。皆さん、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>先ほどご紹介いただいたネットワークの共有化は、何のために図るか。自治会、NPO、ボランティア全部ですが、今参加されている方の支援や負担を軽減させる意味で共有化をすれば良いのではないか、辞める方も少なくなるのではないか、という話をしたような覚えがあります。先ほど言われた、自立的な活動と直接は繋がらないと思います。2本立てのような形で修正していければ良いと思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。意見一覧を見ていただくと、そのような論点がはっきりと出ることになります。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p>
委員	<p><b>◆ 施策 11「商工業を振興します」について</b></p> <p>施策 11「商工業を振興します」です。あまりここに重きがないような気がいつもしながら、そんなことはなくて。ベッドタウンで育ってきた川西ですが、世代が変わってきて、それぞれが自立したまちになっていかないと、今後まちとして成立していかなくなっていくように、個人的には思っています。要するに、地域で経済が循環する仕組みを考えていかないといけない。外からの参入と外にお金が流れていくことは、できるだけ避けていかないといけない。今事業者の中で言われているのは、あと人手不足です。川西市内には大きな会社がなく、安定したところで働きたいということで、我々中小零細の事業所から離れていく人が増えているのが実情です。実際にこのまちから事業者がいなくなるとどうなるか。いなくなって良かったとなるのか、それなりに我々も市民としてまちに貢献できていると認めてくださるのか、そんな働きかけを商工業者はしています。そういうものが、たまにあるイベントや賑わいの催しだと思います。それらを通じて、まちに商売人が顔の見えるところにいることをPRしています。振興するならば、そういうことを拾っていただきたいと思います。</p> <p>あと、多様な事業展開をしていることを把握するみたいなことが書かれていますが、どんな事業をしている方がおられるか、我々も同志として調べて仲間に取り込んでいきたいです。どんな形態の方がおられるかという中でインターネットという言葉が出たから、「インターネットを活用する企業の状況や」という書きぶりになっていますが、そうではなくて、子育てママの事業家や多分皆さんが今まで目にしたことのないような方で、自立してやっついこうとされている女性や若い人がいるわけです。そういった方の状況を把握して支援していく仕組みづくりについて書いていただければ、もう少し事業者として言いたいことが理解していただけるのではないかと思います。</p>

委員	<p>◆ <b>施策 47「持続可能な財政基盤を確立します」</b>について</p> <p>先ほどのところで、2班でも似たような話が出ました。施策 47 です。税収が減っていくので企業を誘致したほうが良いのではないかと、という話が出ました。その中で自分のアイデアとして、例えば JR と阪急の川西能勢口の間にあるアステをもう少し有効利用して、レンタルオフィスとして利用できるようにしてベンチャーを誘致できれば、イメージとして規模は違いますが、大阪のグランフロントのレンタルオフィスのようなスペースの活用方法もあるのではないかと、ということをご提案しました。工業等は難しいかもしれませんが、ネットを活用した、例えば本社とテレビ電話で通信したりして活用できると思うので。その辺りで川西のプラスアルファの魅力を発信していければ、という提案をした覚えがありました。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。商工業振興と持続可能な収入のための策ということで、ご意見をいただきました。</p>
委員	<p>◆ <b>施策 43「市民の声を聴き、情報の共有化に努めます」</b>  <b>施策 44「市民公益活動の発展に向けた取り組みを支援します」</b>  <b>施策 39「市民の学びを通して地域社会を支えます」</b>について</p> <p>施策 43、44、39 の活動の中で「情報の共有化に努めます」とあるところです。川西市内には地域の掲示板がないところがすごく多いです。新興地になればなるほど。デジタル化されている中で掲示板なんてという方が多いかもしれませんが、行政や一般市民の活動を知らせていくのに、掲示板をやっぱり皆さん見られます。周知するという点からきちんと整備していくことを、行政は考えていただきたいと思います。</p>
委員	<p>施策番号で思い出せないのですが、掲示板の話が出たので自分でもアイデアの一つ出していました。人の集まる場所に掲示板を設置するのが一番見てくれるので、最近では液晶でスマートの掲示板がよく街中にあると思います。そういうものが駅のホーム等があれば、通勤される方やドアツードアで川西に帰られる方でも目にすることができると思います。例えばそういうところで、イベントや催しのお知らせがあれば、目に付きやすいという提案をした覚えがありましたので、補足させていただきました。</p>
委員	<p>施策 44 です。もっと面白いアイデアだったので、もう少し説明されたほうが。</p>
委員	<p>例えば、川西市に住まれている方で、今日何をしているか知っている方は少ないと思います。興味がある人や関係のある人は知っていると思いますが、大半の人は知らないと思います。そういう情報を一括して掲示する。それと、先ほどスマートニュースの話がありましたが、例えば川西市で自分が興味のある</p>

	<p>事柄、政治、地域、防犯等を登録していれば、自動的に本日のトピックスのような感じで川西市のニュースが見られるとか。あと、イベントに参加したければ、例えばカレンダー表示でその日付を押せばイベント一覧が出るようなシステムがあれば、お互いの距離がもう少し近くなるのではないかと思います。</p>
委員	<p>パソコンとかスマホで見られる。</p>
委員	<p>そうですね。媒体は何でも。</p>
委員	<p>ノーマルなまちの中にあるものと、お年寄りやデジタルを扱うのがとても難しい。でも若い人はそっちのほうが重要。だから市民全員が見るためには、色々なツールを使って周知していくべきだと思います。</p>
委員	<p>そういう話でしたよね。</p>
委員	<p>チラシ貼りをしたことがあるので思うのですが、南部地域にはすごく広報版が多くて、自治会ごとと聞いたことがあります。北部にはものすごく少ないです。掲示板に自分達が主催するものを貼ろうとなった時に、北部の人はそんなものはないと言って、温度差に驚いたことがあります。掲示板がやはり身近で分かりやすいという方がたくさんおられるので、アナログな部分も残していくべきものはあると思います。もう少し良い感じに設置していただきたい。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。情報共有に向けてまだまだあの手この手、あらゆるメディアを総動員して進めていく必要があるというご意見をいただきました。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p>
委員	<p><b>◆ 視点「安全安心」について</b></p> <p>項目としては視点の「安全安心」になると思います。川西市に長く住んでいますが、他市と比べて川西市は本当に安全安心で暮らしやすいまちではないかと思っています。川西市の良さを他の自治体の方にどのようにして情報発信して、川西市に多く住んでもらうにはどうすれば良いか、いつも考えます。川西市は安全安心で犯罪も少ない、交通事故も少ないという情報の発信を、私達市民もあらゆる機会を通じてしていく必要があると思っています。そうしないと、少子高齢化、人口減少に歯止めがかからないと思います。他の施策ももちろん大切ですが、安全安心で暮らしやすい川西市をアピールするには、お金も大して必要ないので。この中にそういうテーマを入れていただければどうかと思っています。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。安全安心をもっとアピールせよというご意見をい</p>

	<p>ただきました。 その他いかがでしょうか。</p> <p>◆ <b>施策 46「革新し続ける行政経営をめざします」</b> <b>施策 47「持続可能な財政基盤を確立します」</b> <b>施策 49「長期的展望に立ち、公共施設を整備・保全します」について</b></p> <p>委員 施策 46 です。ここには書かれていませんが、市の歳入を増やすためにもっと寄付を増やしていくのはどうか、という意見も確かあったと思います。あるものをどう使うか、支出をどれだけ減らすかではなく、入るを増やすという話も出ていたと思います。</p> <p>それと施策 47 で、若い人の納税率が低いのではないかという話が出ました。納税システムを若い人向けにメリット感も含めて考えればどうか、という話も出たと思います。</p> <p>施策 49 は、例えば昔 N T T のビルだったところが今は消防になっています。そのような既存施設の効果的な転用の話もあったと思います。</p>
	<p>◆ <b>施策 39「市民の学びを通して地域社会を支えます」について</b></p> <p>委員 施策 39 は学びの機会ということで、大方こういう話であったとは思いますが、公が学びの機会を提供する施設としての公民館の今後の役割、講座のあり方と言うか、これまで公民館が果たしてきた役割とは変わってきているのではないか、というような議論もあったような記憶があります。公の施設が学びの場として果たす役割について検討していく時がきているのではないか、という意味合いが含まれたほうが良いと思います。</p>
	<p>会 長 ありがとうございます。これまでの講座等のあり方をただ単に検討するのではなく、むしろ時代の変化に合わせて、そして市民のニーズに応える新しい仕組み、或いは改革をやっていくイメージが必要ではないかということでしょうか。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p>
	<p>◆ <b>1 班で議論した各施策に対する意見・提言・問題提起について</b></p> <p>委員 1 班の議論の中で、全体を通して指標の適切性や関連する個別計画の状況、それから現状の把握をもっとしたほうが良いという点が、色々な項目で出てきましたが、多くの場合意見集では載っていません。ひょっとしたら、そういうものが充実されたり適正化されたりして総計ができてくることになるのかもしれませんが、まだそれが分からない状態なので、意見集の段階ではそれはやはり入れていって欲しいです。どこをどうというところまで意見集の表に出てこなくて良いですが、効果を示す指標について検討したほうが良いというのと、現状の把握をよりの確に進めるべきだという部分について、それに類する意見</p>

が出てきたところには足して行って欲しいと思います。最後にできあがりを見せていただいて、指標が適正化されたとなれば取っても良いと思いますが、現状の意見集の段階では入れて行って欲しいと思います。

意見集の施策1は、概ね全体はこれで良いのですが、趣旨は緩やかに人口減少が見えてきている状況の中で、過度な人口流入を抑制するための手段であった都市計画法や開発指導要綱を前提に今後の施策を進めて行って良いのか、良好な都市の保全・形成を進めるとともに、めざすべき都市像や開発規制をそこからもう少し検討するべきではないか、という意見でした。議論していた趣旨に基づく文案を検討しましたので、後ほどお伝えしたいと思います。具体的には読み下しますが、後段の「このような中、都市計画法や開発行為等指導要綱には、過度の人口流入を抑制する機能を持っていたが」となり、そこから「良好な都市の保全・形成を進めるとともに」から最後まではそのまま、「検討すべきではないか」としていただければ。またそれは、後ほど申し上げたいと思います。

施策2については、自転車の整備について施策としてありますが、ここには出てきていなかったというところから、関連する個別計画、特に自転車道の整備について言及があったほうが良いのではないかと、ということだと思います。また、施策2については指標の問題性が指摘されていました。

施策3については概ねこれで良いかと思いますが、細かな文章をまた後ほど申し上げたいと思います。

施策4については、公園利用の多様化、年齢層で言うと高齢者向けの利用方法を考えるとボール遊び等は制御されるが、子どもはボールで遊びたいという難しさのところが議論になりましたので、施策としてまとめにくいためこういう表現になっていると思いますが、ただ、公園の利用や対象の選定、子どもの遊びをより積極的にみるべきではないかというご意見があったと思います。

施策5は施設の更新時期について、お手元の意見で言うと2枚目の真ん中辺りに「上下水道の環境整備」があります。施設更新の状況がどうなっているか、それとの関連で水道料金がどうなるのかについて、市民に示していくべきではないかということは、グループ全体での共通認識として皆さん領いておられたと思いますので、それは入ったほうが良いと思います。

施策9については、高齢化が進んでいる中で心配されていたのは高齢化されている住民の暮らす環境というところですが、ただこれについては、「安らぐ」「関わる」のところと関わるのでここに入れていないのは分かるのですが、そういう人達のコミュニティ形成をどう支えていくかということが重要なポイントではあったので、これは言及いただいたほうが良いのではないかと思います。

施策11については、先ほども委員からお話がありましたが、ちょっと丸められ過ぎています。特に事業形態多様化とそれを踏まえた政策・課題設定が必要ではないか、特にeコマースのような、というところがありました。

施策12に関しては、商圈の東西の分断が地理的な問題としてあるのではないかと、というところが出ていました。ここでは「官民連携を推進し」と書いて

ありますが、民どうしの連携も必要ではないかという言い方が強調されていたので、民どうしの連携は総計には書けないというところかもしれませんが、もし可能であれば入れていただいたほうが良いと思います。

施策 13 は今後の農業のあり方について、もう少し個別計画として考えるべきではないか、というお話しがあったかと思います。ただその個別計画については、産業ビジョン計画を作成する予定でその中で触れられていくとのことでしたので、それであれば産業ビジョン計画の中で川西市の後継者問題と産業の動向について把握するべきだ、ということが皆さんの合意であったかと思います。

施策 14 については、「増加させる支援に努めるべきである」と書いてありますが、そういった企業がどれくらいあるかを把握すること、特に障がいのある方の法定雇用率がありますので、その把握について、また、かわにし仕事サポートセンターのハローワークとの棲み分けについて、また、起業を支える施策等が指摘されていました。

施策 15 については、庁内連携が重要というお話しが出ていました。文化財と観光の部分が連携してもらわなければならないということは、最初に出てきた部分だと思いますので、それを入れていただきたいと思います。

施策 16 については、把握の仕方や指標について多くの議論がありました。どう直せば良いか思いつかないまま、でもこういう議論ではなかったかなというところで、どの意見を活かせば良いのかをご相談させていただければと思います。

「育つ」の施策 32、33、34 については、既に各委員からご指摘がありましたので、ご検討いただきたいと思います。

施策 36 については、「経済的な理由による小・中学校の学力格差に対する支援など」となっていますが、その状況の把握、現状の指標では経済的理由による長期欠席児童生徒はいないとなっていますが、この 5 年間の展開として子どもの貧困問題を把握する時に、その指標であればゼロになってしまいます。その考え方を現代的にさせていただいたほうが良いのではないかとこのところでしたので、「把握」という言葉を入れていただきたいと思います。また、経済的な理由による教育の問題だけ書かれていますが、特に発達に課題を抱えている子どもに関しては、理学療法士の常駐化という個別の施策が出ましたが、それが書きにくいのであれば、発達・学びに障がいを持つ子どもについては、「ケアの質の充実」と書いていただいたほうが良いと思いました。

施策 37 については、先ほど問題提起した通りです。

だいたいそんなところかなと思いつつ、拝見しておりました。もし私が申し上げたところで、それは違うというところがあれば、委員の皆さんからも補足していただきたいと思います。

会 長

ありがとうございました。1 班でご議論いただいた項目について、内容を補足すべき点等々ございました。ご参加の各委員からも補足、或いはご提案があ



ればいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

たくさんご意見をいただいているうちに、お約束の時間になってしまいました。今日この場でどうしても言っておきたいことがあれば、お伺いしたいと思います。いかがでしょうか。

それでは、今後の進め方のご相談を最後にさせていただきたいと思います。事務局でおまとめいただきましたが、委員の皆さま方からはせつかくの審議会での意見を、もう少し丁寧に伝えて欲しいというご意見をいただきました。事務局としても皆さま方のご意向に配慮して、当日配布した意見一覧、それから議事録も取っておりますので、それに基づき各施策について各委員からどういご意見があったのかをまとめた意見集にしてはどうか、というご提案をいただきました。事務局としてはそういう作業をしていただけるということで、よろしいでしょうか。

事務局

はい。

会 長

それでは、そうした記述の仕方を事務局でご用意いただき、それも最終的に私どもの意見として答申に合わせて提出したいと考えておりますが、各委員いかがでしょうか。そういう扱いでよろしいでしょうか。実際にはそれを作成後、各委員のお手元に届けてご覧いただくこととなりますが、時間的には厳しいところもありますが、そういう作業を大急ぎでこれから進めることになろうかと思っております。そういう手順で私どもの答申と、それに付属する委員の意見集を用意したい。個別のご意見はそれぞれ矛盾するところがあったり、或いは場合によっては他の分野とも関連するようなご意見等、色々あると思っております。それはあくまでも、当委員会での各委員からのご意見をできるだけ丁寧に拾ってまとめたという体裁になろうかと思っております。それが市、或いは市民に対する私どもの責任の果たし方ということで、ご理解いただければと思いますが、よろしいでしょうか。

(一同、異議なし)

会 長

それでは、少し大変ですが事務局は準備をよろしく願いいたします。

それからもう一つ。実際に答申をする時には本文を付けなければならないのですが、私どもの意見等々をしっかりと反映させて今後基本計画の策定を進めていただきたいという、表書きにあたるような答申をさせていただくことになると思っております。この答申案について、あらかじめ事務局で作成していただいておりますので、一度お目通しいただきたいと思っております。事務局のほうで各委員に答申案をお示しいただけますか。これについては、ご議論いただく時間が今日はありませんので、こうした内容を事務局案として考えていただいたということで、ご一読いただければと思います。これについても、ご意見を事務局までいただければと思います。次回改めて、最終的に当審議会として結論を得てい

	<p>きたいと思います。先送りばかりになって恐縮ですが、充実した良い意見をたくさんいただきましたので、各委員からのご意見を大切にしたいと思っております。</p> <p>ここまでのところで、各委員から何かご注文、或いはこれだけは今言っておいたほうが良いということがあれば、お願いします。</p>
委員	<p>◆ <b>原課への問い合わせ、回答について</b></p> <p>先ほど色々勝手申しまして、申し訳ありません。先ほどお話しさせていただいた、グループでの議論で出た原課がどのように考えておられるのか、どういう認識をお持ちかについて、1班で出たものについては最後まで構わないので、文書か何かの形で原課からの回答をお願いしたいと思っております。投げかけたものは返していただきたいと思っております。</p>
委員	<p>◆ <b>施策評価指標の見直し、構築について</b></p> <p>施策ナンバーも思い出せないし、自分達のグループだったか違ったかも分からないのですが、例えば公共施設の状況等をはかる時に、一面的なニーズでははかれないものがあると思います。例えば啓発性の強い施設では、そこがどう活用されているかは人数だけじゃない部分もあると思います。そういう評価軸を見直すと言うか、構築していくことが重要だと思っています。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。1班でも同様に個別の評価指標や数字について、問題指摘がされておりました。全体を通じてどう評価するのか、どういう評価の尺度を設けるのかについては、次回の意見集の中でも言及されると思います。場合によっては、施策ごとの意見集とは別に評価目標、或いは数値設定の仕方等について、当審議会でのご意見をまとめて記載することもあるかもしれません。この辺りは事務局とも相談の上、適宜処理をさせていただきたいと思っております。</p> <p>なお、1班からの原課に問い合わせ返すことは、直ちに返ってくるかは分かりませんが、できるだけ当審議会が活着しているうちに回答をいただければと思います。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(意見なし)</p>
会 長	<p>それでは、宿題ばかり残してしまいましたが、本日ご審議いただき議事については以上とさせていただきます。事務局に進行をお返しします。</p>
事務局	<p>(2) その他</p> <p>● <b>次回の日程・内容確認など</b></p> <p>皆さま長時間にわたり活発なご議論をいただき、ありがとうございました。</p>

次回の日程については、9月26日火曜日に行いますので、ご多忙とは存じますがご出席のほどよろしくお願いいたします。

それでは、本日の会議はこれで終了といたします。本日はまことにありがとうございました。

### **3 閉会**